

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

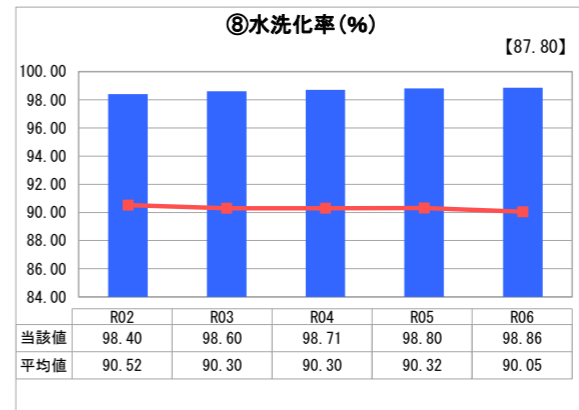
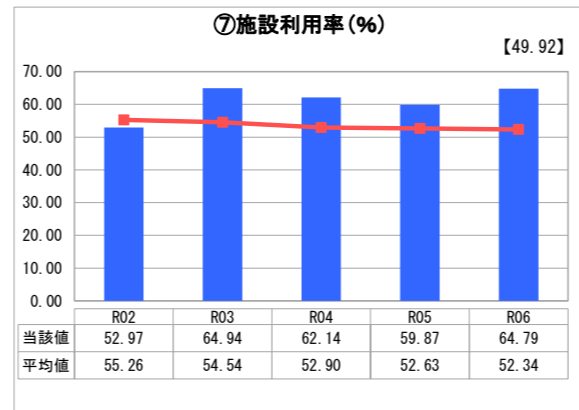
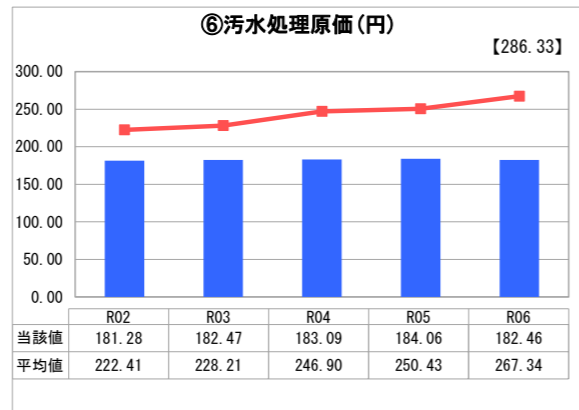
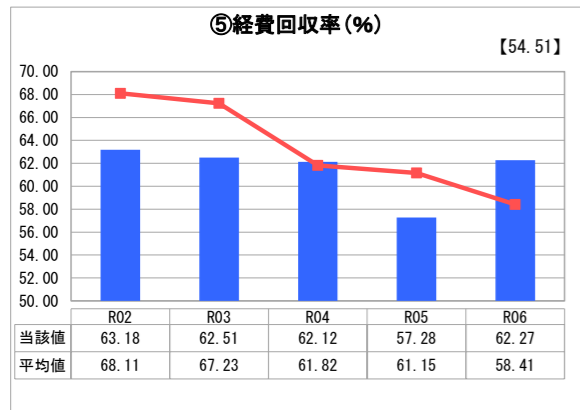
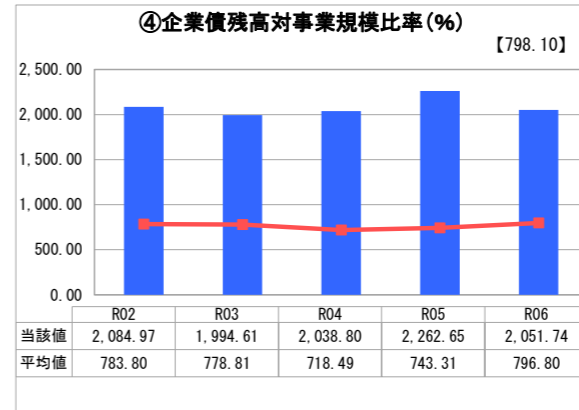
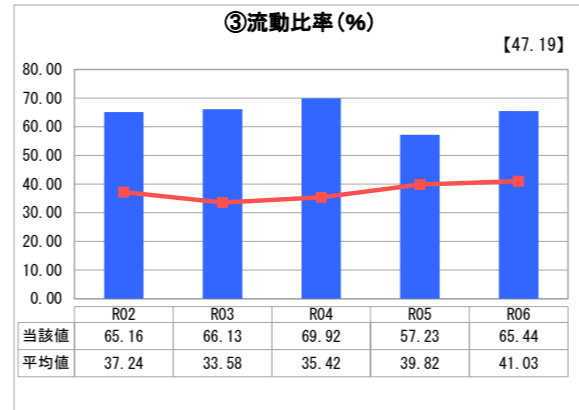
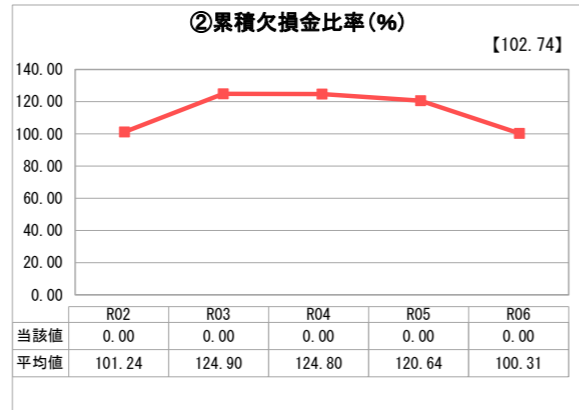
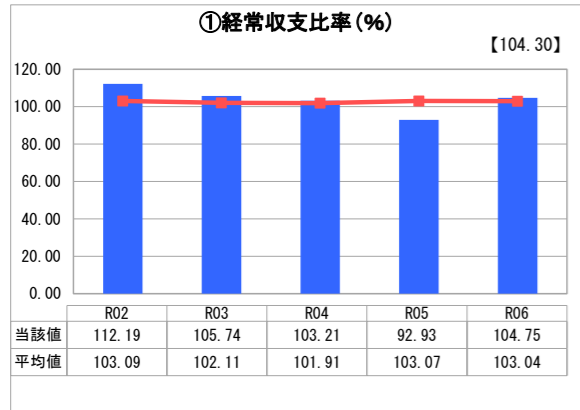
石川県 かほく市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	26.18	11.40	89.40	2,442

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
36,200	64.44	561.76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,129	1.75	2,359.43

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

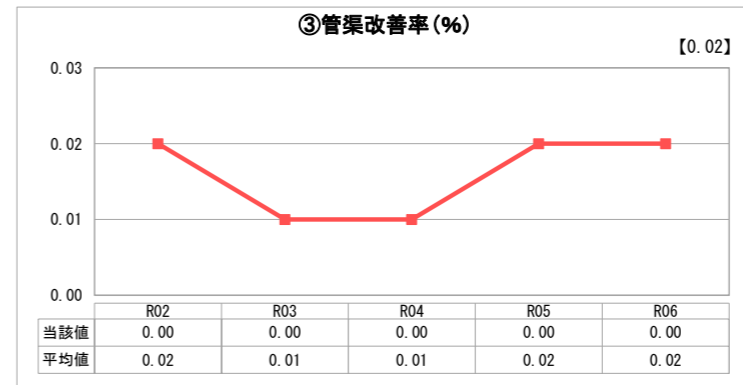
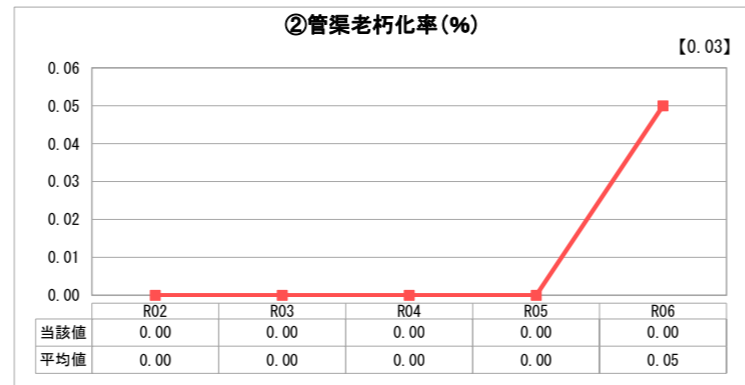
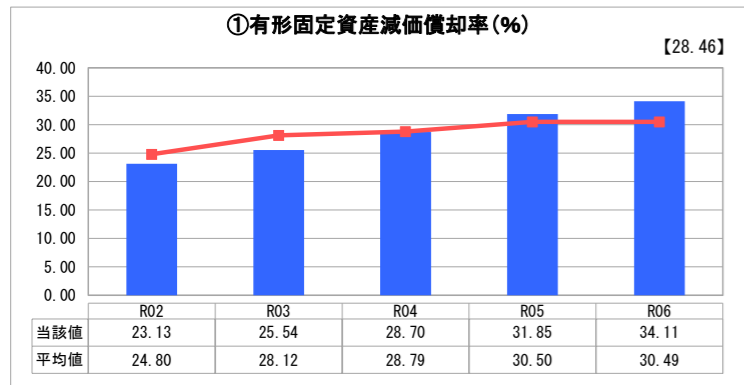
### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については黒字を示す100%を超えているが、収入については一般会計からの繰入金に依存しており、営業収支については赤字となっている。経費回収率は62.27%であり、使用料で回収すべき経費を使用料で賄っていない状況である。また企業債残高対事業規模比率が類似団体平均値に比べて高い状況であり、設備投資に対し使用者が少なく、大幅な使用料収入も見込めないため、経営状況は極めて厳しい。事業実施の際は、補助金等の財源確保に努めているが、不足分については一般会計からの繰入により事業運営を行っている状況である。使用料については、令和8年度に改定を予定しており、経営状況の改善を目指していく。

### 2. 老朽化の状況について

管渠については、現在のところ耐用年数を超過したものはないが、カメラ調査による診断などを行い適正管理を行っていく予定である。施設利用率は64.79%であり、類似団体平均値を上回っており、統廃合事業により施設数が減少したことが要因である。今後も年次計画に基づき、統廃合を主とした工事を実施していく。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

事業経営については、包括民間委託等により経費削減に努めているが、今後は物価高騰による費用の増加が見込まれる。また使用料収入が低く一般会計からの繰入金に依存している状況であるが、令和8年度に使用料改定を予定しており、より一層の収入改善及び支出抑制に努めていく。今後は引き続き施設の統廃合や老朽化対策等の経営改善を行い、災害復旧工事についても令和12年度完了を目標とし迅速に進めていきたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。